

安全データシート (SafetyDataSheet)

1. 製品名及び会社情報

製品名 : 07583283 溶接遮光フェンス(シート)
会社名 : 株式会社MonotaRO
所在地 : 〒660-0876 兵庫県尼崎市竹谷町2-183 リベル3階
担当者名 : 商品お問合せ窓口
電話番号 : 0120-443-509
FAX番号 : 0120-289-888
緊急連絡先 : 所在地と同じ
整理番号 : M200512

2. 危険有害性の要約

重要危険有害性及び影響 : 該当しない
GHS分類 : 分類基準に該当しない

3. 組成及び成分情報

単一製品、混合物の区分 : — (成形品)
化学特性 : 軟質ポリ塩化ビニル(トリフェニルホスフェート、安定剤、その他を含む)
PRTR該当物質の含有 : トリフェニルホスフェート
労働安全衛生法通知対象物資 : トリフェニルホスフェート
危険有害成分 : 該当しない
分類に寄与する不純物及び安定化添加物 : 情報なし

4. 応急措置

吸入した場合 : —
皮膚に付着した場合 : 特に応急措置不要。必要により医師の診断を受ける。
目に入った場合 : 洗眼する。必要により医師の診断を受ける。
飲み込んだ場合 : 吐き出す。必要により医師の診断を受ける。

5. 火災時の措置

消火剤 : 水及び粉末消火剤
特有の危険有害性 : 火災によって刺激性の強い塩化水素ガスを発生するおそれがある。
消化を行う者の保護 : 防毒マスクの着用。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項

保護具及び緊急時措置	: 特になし
環境に対する注意事項	: 特になし
回収、中和	: 専門業者に依頼すること

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策	: 該当しない
局所換気・全体換気	: 該当しない
安全取扱い注意事項	: 重量物であることを意識し、急に持ち上げたり、放り投げたりしないこと。 火気、火元の近くでは取り扱わないこと。 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

保管

混触禁止物質	: 特になし
保管条件	: 高温、多湿、直射日光、火気を避けること。
容器包装材料	: 情報なし

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策 : 該当しない

保護具

呼吸器の保護具	: 特になし
手の保護具	: 特になし
目の保護具	: 特になし
皮膚及び身体の保護具	: 特になし

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態	: 固体
形状	: フィルム
色	: イエロー
臭い	: ほとんどなし
PH	: 該当しない
物理的状態が変化する特定の温度	: 非晶性ポリマーの為、明確な融点なし
密度	: 1.27～1.29
溶媒に対する溶解性	: THF、ケトン類に可溶

10. 安定性及び反応性

安定性	: 通常の温度下では安定である
危険有害反応可能性	: 該当しない
避けるべき条件	: 高温、多湿、直射日光、火気
混触危険物質	: 特になし
危険有害な分解生成物	: 火災によって刺激性のある強い塩化水素ガスを発生するおそれがある

11. 有害性情報

急性毒性	: 該当しない
有害(健康)影響	
吸入	: —
経口摂取	: 情報なし
皮膚	: 情報なし
眼	: 情報なし

12. 環境影響情報

環境に対する有害性	: 情報なし
生態毒性	: 情報なし
残留性・分解性	: 生分解性はないと考えられる
土壌中の移動性	: 情報なし
オゾン層有害性	: 情報なし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	: 専門業者に依頼すること
汚染容器・包装	: 該当しない

14. 輸送上の注意

国際規制	: 該当しない
国内規制	: 該当しない
特別安全対策	: 輸送に際しては、直射日光を避け、水濡れに注意し、荷崩れ防止措置を確実に行うこと。

15. 適用法令

消防法	
指定可燃物	: 市町村条例を参照ください

16. その他の情報

含有しているPRTR第一種指定化学物質	
政令番号 ##	: トリフェニルホスフェート (7～11 wt%)
労働安全衛生法通知対象物質	: トリフェニルホスフェート (7～11 wt%)
質	
GHS分類対象物質の含有	: 有り

フタル酸系可塑剤は食品衛生法の「おもちゃの規格基準」、「器具及び容器包装の規格基準」の制約あり。
欧州への輸出に関しては、REACH規制による高懸念物質の含有有無を確認ください。

本製品はSDS制度の定めるところのSDSの提供が義務付けられるべき製品の対象外である「固形物」に該当するため、SDSは必要とされておりません。従いまして、本安全データシートは、SDSの書式を定めた「JIS Z7253:2012」に準拠した形で作成しております。

記載内容の取扱い

本記載内容は現時点で入力できる資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、含有量、物理化学的性質、危険、有害性に関しましては、いかなる保証をなすものではありません。また、注意事項は通常の手配を対象にしたもので、特殊な取扱いの場合には用途、用法に適した安全策を実施の上、ご利用ください。

1. 製品及び会社情報

製品名	:溶接遮光フェンス(フレーム)
会社名	:株式会社MonotaRO
所在地	:〒660-0876 兵庫県尼崎市竹谷町2-183 リベル3階
担当者名	:商品お問合せ窓口
電話番号	:0120-443-509
FAX番号	:0120-289-888
緊急連絡先	:所在地と同じ
整理番号	:M200512

2. 危険有害性の要約

GHS分類	
物理化学的危険	: 該当しない
健康に対する有害性	: 該当しない
環境に対する有害性	: 該当しない
GHSラベル要素	: 該当しない

危険性 : 消防法指定可燃物にあたる。
通常の取扱いでは危険性・有害性はない。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区分		パイプ；混合物(樹脂被覆鋼管)	
成分及び含有量	鋼管	①スチール	99wt%以上
		②アクリル樹脂	1wt%未満
	被服樹脂	③ASA樹脂(AAS樹脂)	45wt%以上
		④ABS樹脂	45wt%以上
		⑤着色剤、添加剤	5wt%未満

官報公示整理番号 ①②⑤ —
③化審法(6)-779、(6)-126
④化審法(6)-176

CAS No. ①②⑤ —
 ③ 26299-47-8
 ④ 9003-56-9

単一製品・混合物の区分 成分及び含有量	ジョイント ; 混合物	
	①ASA樹脂(AAS樹脂)	95wt%以上
	②着色剤、添加剤	5wt%未満

官報公示整理番号 ①化審法(6)-779、(6)-126
② —

CAS No.	① 26299-47-8
	② —

4. 応急措置

吸入した場合	粉末となって吸引した場合は、鼻をかみ、水又はいがい薬を用いてうがいをし、医師の診断を受ける。
--------	--

眼に入った場合	粉末となって目に入った場合は、直ちに清水で十分に洗眼し、医師の診断を受ける。
皮膚に付着した場合	粉末となって皮膚に付着した場合は、石鹼水で良く洗い落とす。 溶融樹脂が皮膚に付着した場合は、直ちに大量の水で冷やし、医師の手当てを受ける。
飲み込んだ場合	水で口の中をよく洗浄し、うがいをする。 破片を飲み込んだ場合は、大量の水を飲ませて吐かせる。 咽頭痛、吐き気の症状がある場合は、直ちに医師の診断を受ける。
※応急措置後は、必要に応じて医師の診断を受ける。	

5. 火災時の措置

消火剤	: 大量の水、粉末消火剤、泡消火剤等を用いることが出来る。
危険有害性	: 被覆樹脂は火災時には強い熱、濃い黒煙、一酸化炭素、二酸化炭素、シアン化水素、炭化水素類、窒素酸化物を含む有害なガスを発生する。
消火方法	: 火元の燃焼源を断ち、大量の水、消火剤を使用して消火する。 消火作業は、風上から行い、呼吸保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

回収または廃棄する。
通常的环境下では固体であり漏出ししない。13項に従って処理する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	: 熱、発火源から離れた場所で取り扱う。 樹脂の二次加工・粉碎等で発生する粉塵は、眼・皮膚・呼吸器を刺激することがあるので適切な保護具を着用する。 また、静電気や電気スパーク等で粉塵爆発を起こすことがあるので堆積しないように清掃する。
保管	: 熱、発火源から離れた場所で、直射日光を避けて常温保管する。 過度の段積みをして、変形や荷崩れを防止する。

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策	: 粉塵が発生する場合は、局所排気装置を設置すること。
管理濃度	: 設定されていない。
許容濃度	: 設定されていない。
保護具	: 機械加工など粉塵の発生する作業の時は、防塵マスク、保護メガネを使用する。

9. 物理的及び化学的性質

	鋼 管	被覆樹脂・ジョイント
外観	固体	固体
融点	1400℃以上	130～150℃で軟化する(明確な融点を示さない)
発火点	—	400℃以上
密度	7.5～8.0g/cm ³	1.04～1.06g/cm ³
溶解性	水に不溶	水に不溶 アセトン・メチルエチルケトン等の有機溶剤に溶ける
発火性	なし	なし(自然発火性、水との反応性)
酸化性	なし	なし(通常の手扱い)
可燃性	なし	あり(消防法指定可燃物)

10. 安定性及び反応性

一般的な取り扱い・保管において、安定であり、反応性(水との反応性、自己反応性、爆発性)はない。

11. 有害性情報

人に対しての有害性に関する有用な情報は現在のところなし。
被覆樹脂は、燃焼などによりNOX、CO2が発生する。
溶融樹脂から発生するガス、ヒュームは眼及び皮膚を刺激し、皮膚炎症の恐れがある。

12. 環境影響情報

環境影響に関する有用な情報は現在のところなし。
海洋生物・鳥類が摂取することを防止するために、いかなる海洋や水域へ投棄・放出してはならない。

13. 廃棄上の注意

「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」及び地方自治体の規制に従って処理する。
または法的に許可を受けた廃棄物処理業者に委託する。

14. 輸送上の注意

輸送に関する国際規制 : 該当なし。
※火気厳禁を徹底すること。
破損しないように乱暴な取り扱いを避け、大量の場合は荷崩れのないように注意する。
雨水等の浸透を防ぐため、包装やシート等の被覆をすることが望ましい。

15. 適用法令

消防法	: 指定可燃物一合成樹脂類(3,000kg以上) (火災予防条例準則第34条)
PRTR法	: 該当しない。

16. その他の情報

引用文献

製品安全データシート : 原料メーカー発行による。

GHSに基づく化学品の
危険有害性情報の伝達方法 : JIS Z 7253:2012に準拠

特記事項

本製品安全データシートは、安全な取り扱いを確保するための参考情報として、取り扱う事業所に提供されるものです。

現時点で入手できる資料・情報・データに基づいて作成しておりますが、危険・有害性等に関してはいかなる保証をなすものではありません。

また、上記の情報は新しい知見により訂正されることがあります。

注意事項は、通常の取扱い・使用環境を対象としたものであり、特殊な取扱い・使用環境の場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください。